2026年8月4日

関係各位

薬局だより

薬剤部　医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

・全科新規採用薬品：下記の通り

なし

・診療科限定新規採用薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
口腔外科	オラビ錠口腔用50mg	(1錠中) ミコナゾール 50mg	ネクセラファーマジャパン	通常、成人には1回1錠(ミコナゾールとして50mg)を1日1回、上顎歯肉(犬歯窩)に付着して用いる。	カンジダ属による口腔咽頭カンジダ症
呼吸器内科	ラスビック錠75mg	(1錠中) ラスクフロキサシン塩酸塩81.23mg (ラスクフロキサシンとして75mg)	杏林製薬	通常、成人には、ラスクフロキサシンとして1回75mgを1日1回経口投与する。	＜適応菌種＞ 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、プレボテラ属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ) ＜適応症＞ 咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎
呼吸器内科	ラスビック点滴静注キット150mg	(1キット中) ラスクフロキサシン塩酸塩162.5mg (ラスクフロキサシンとして 150mg)	杏林製薬	通常、成人にはラスクフロキサシンとして、投与初日に300mgを、投与2日目以降は150mgを1日1回点滴静注する。	＜適応菌種＞ 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、ベイヨネラ属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ) ＜適応症＞ 肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染

2) 診療科限定追加薬品：下記の通り

なし

3) 患者限定新規採用薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
泌尿器科	レグナイト錠300mg	(1錠中) ガバペンチン エナカルビル300mg	アステラス製薬	通常、成人にはガバペンチン エナカルビルとして1日1回600mgを夕食後に経口投与する。	中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)
脳神経内科	ハイキュービア10%皮下注セット5g／50mL ハイキュービア10%皮下注セット10g／100mL ハイキュービア10%皮下注セット20g／200mL	(1mL中) 人免疫グロブリンG 0.1g	武田薬品	＜無又は低ガンマグロブリン血症＞ ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)を皮下投与した後、約10分以内に同じ部位へ人免疫グロブリンGを皮下投与する。 ＜慢性炎症性脱髄性多発根神経炎及び多巣性運動ニューロパチーの運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)＞ 通常、成人には、ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)を皮下投与した後、約10分以内に同じ部位へ人免疫グロブリンGを皮下投与する。 ※詳細は添付文書参照	○無又は低ガンマグロブリン血症 ○慢性炎症性脱髄性多発根神経炎及び多巣性運動ニューロパチーの運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)
泌尿器科	エドスチラドリン膀胱内注入液	(1V中) ナドファラゲン フィラデノベクとして 6.0×1012vp(vp：ウイルス粒子数)	フェリングファーマ	通常、成人には1回あたり75mL(3×1011vp/mL)を3カ月間隔で膀胱内投与する。	BCG膀胱内注入療法後に残存・再発した上皮内癌を有する高リスク筋層非浸潤性膀胱癌 ただし、BCG膀胱内注入療法の再導入の適応とならない患者に限る
小児科	DTビック	(1V中) ジフテリアトキソイド 3.5Lf 破傷風トキソイド 0.45Lf	田辺ファーマ	初回免疫 通常、1回0.5mLずつを2回、3～8週間の間隔で皮下に注射する。ただし、10歳以上の者には、第1回量を0.1mLとし、副反応の少ないときは、第2回以後適宜増量する。 追加免疫 第1回の追加免疫には、通常、初回免疫後6カ月以上の間隔をおいて、(標準として初回免疫終了後12カ月から18カ月までの間に)0.5mLを1回皮下に注射する。ただし、初回免疫のとき副反応の強かった者には適宜減量し、以後の追加免疫のときの接種量もこれに準ずる。また、10歳以上の者には、0.1mL以下を皮下に注射する。	ジフテリア及び破傷風の予防
産婦人科	ハイツエキシン錠10mg	(1錠中) リソバリシブメシル酸塩水和物 10.52mg(リソバリシブメシル酸塩として10mg)	大鵬薬品	通常、成人にはリソバリシブメシル酸塩として1回40mgを1日1回空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	がん化学療法後に増悪したPIK3CA遺伝子変異を有する 卵巣明細胞癌
腎臓内科	サフネロー皮下注120mg オートインジェクター	(1キット中) アニフロルマブ(遺伝子組換え)注) 120mg	アストラゼネカ	通常、成人にはアニフロルマブ(遺伝子組換え)として、1回120mgを1週間ごとに皮下注射する。	既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

・バビースモ硝子体内注射用キット120mg/mL:診療科限定のままで(眼科)

・ロタテック内用液:診療科限定のままで(小児科)

5) 販売/供給中止・回収・限定出荷等に伴う変更 (在庫なくなり次第変更予定)

① 販売中止に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
ブレディニンOD錠25mg	→	ブレディニン錠25mg

② 供給困難に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
ペンタサ錠500mg	→	メサラジン徐放錠500mg「トーワ」
テイコプラニン点滴静注用200mg「VTRS」	→	テイコプラニン点滴静注用200mg「日医工」
エビスタ錠60mg	→	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「サワイ」
注射用HCG5,000単位「F」	→	ゴナトロピン注用5000単位
炭酸水素ナトリウム「VTRS」	→	炭酸水素ナトリウム「ケンエー」

③ 出荷停止・販売移管に伴う変更

なし

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

ガベキサートメシル酸塩注100mg「タカタ」	:	期限切れのため削除
フェノバールエリキシル0.4%	:	販売中止のため削除
ダラシンTゲル1%	:	期限切れのため削除
ワゴスチグミン注0.5mg	:	販売中止のため削除

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤型変更/剤型追加/規格変更/規格追加

(変更後薬品名)		(変更前薬品名)
【患者】エンスプリング皮下注120mgオートインジェクター	:	【患者】エンスプリング皮下注120mgシリンジ

(2)規格追加

・【科】ダルベポエチン アルファ注10μgシリンジ「KKF」

・【科】リドカイン塩酸塩注2%「日新」5mL

(3)規格変更

(変更後薬品名)		(変更前薬品名)
白色ワセリン「ケンエー」25g(ソフトチューブ)	:	白色ワセリン「ヨシダ」50g瓶(ポリエチレン容器)

② 採用薬変更

(1)採用薬変更(輸血療法委員会より)

(変更後薬品名)		(変更前薬品名)
献血アルブミン25%静注12.5g/50mL、25g/100mL「KMB」	:	献血アルブミン20%静注10g/50mL「JB」

8) 後発品への変更(在庫なくなり次第変更予定)

①先発→後発への変更

・オノアクト点滴静注用50mg→ランジオロール塩酸塩点滴静注用50mg「F」

・ビムパット点滴静注100mg→ラコサミド点滴静注100mg「日新」

・ビラノア錠20mg→ビラスチンOD錠20mg「日新」

・エフィエント錠3.75mg→プラスグレル錠3.75mg「トーワ」

・エフィエントOD錠20mg→プラスグレルOD錠20mg「トーワ」

・イグザレルトOD錠10mg→リバーロキサバンOD錠10mg「サワイ」

・イグザレルトOD錠15mg→リバーロキサバンOD錠15mg「サワイ」